

添付：「プランデミック」から「より良い日常」へ
「WORLD DOCTORS ALLIANCE / 世界医師連盟」の宣言メッセージ

コロナと
生きる



まほろば主人

会長講演録—1

「コロナと生きる」前篇

2021年1月20日の北翔大学で始まった講演会。2月23日のスタッフ講習会まで、計5回。3時間に及んだ「コロナと生きる」と題した内容を、前後篇に分けて掲載します。

一、身の周りに起こっている

異常事態

今は、農閑期。

久しぶりに、家内と会社に。

スタッフやお客様と快談すること数時間。ところが、なんとなく息苦しい。

(これは、マスクのせいかな)

普段あまりしたことが無いから明らかだ。

「朝から晩まで付けているの?」
と、スタッフに訊く。

「はい」と。

「何でもないの?」

「もう慣れました」

この一年、たまに買い物に出かけたり、帰社の際、短時間のマスク装着は、形だけ。

しかし、少し長く付けただけで、こどもも息苦しいとは。その深刻さが、コロナ発生一年後に解るとは、何とも情けない。

仁木の田舎暮らしでは、体験できなかった。正に、田舎は「陸の孤島」であった。

古くからのお客様は、

「うちは、旦那が帰って来ると、一斉にみんなマスクをするの」

「エエー、家でもするの！ 家族の前で？」

これには、驚きを隠せなかった。

息苦しい！

家庭は憩いの場でなくなった。



店で半日マスク着用状態の息苦しさに。この異常な世の中の状況を初めて知った。仁木は、「陸の孤島」であった。

国中が、こんな状態になっているとは、何ごとも身を痛めねば、人の痛みは分からない。

二、自死を願う

そして、車中たまたま聞いたラジオで流されたコロナ特集。大学生が電話相談室を開き、コロナにまつわる若者の声を受け付けた所、その大半が「死にたい」「死ぬにはどうしたらいいか」という問い合わせ。夜中10時から明け方5時まで、途切れることなく続いたという報告は、甚だショックだった。



米国大統領選の対岸の火事より、足元に火が付いている。

「これは、大変な事態だ！」「気分くのが、遅すぎた。」

北翔大学での講義も、大統領選にまつわる「今日（1月20日）、運命が変わる」から「コロナと生きる」に急遽テーマを変え、俄か勉強を始めた。正に、小学一年生である。

三、コロナ死より多い自殺

今、小中高生の自殺数が急増している。2,199人（1月22日現在）とある。前年統計の20歳以上、30歳以上（40歳未満）では、それぞれ、2,117人、2,526人。



コロナと生きる

り正解であろう。

死でカウントされるので、1/5がより正解であろう。

／3。そして、慢性疾患が悪化して死亡する超過死亡が毎年約1万人（厚生労働省発表）であるから実体は1/5という結果だ。後述するが、コロナ死は他の死因で死亡してもコロナのPCR陽性者であった場合はコロナ死でカウントされるので、1/5がより正解であろう。

右下の表は、コロナ死亡者が、他の疾患死亡者数に比較して、圧倒的に少ないことだ。しかも、例年のインフルエンザ死亡者数の2

四、インフル死より少ないコロナ死

いる。コロナが、拍車をかけたことは、明白だ。日本の未来を託する若者が、今窮地に陥っている。

若者の計6,842人だけで、1年間のコロナ死認定者の5,401人（1月28日）を上回っている。それも自殺者総数21,017人の1/4にしか過ぎない。学校に行けない、バイト先も切れた、友も家族とも断絶など鬱積する悩みは尽きず、倍増するばかりだ。最早、活路が絶たれたと、死を選ぶのだろう。

疾患	死亡者数	コロナとの比較	発表
新型コロナウイルス感染症	2,139		12/1現在
インフルエンザ	3,571	インフルエンザの3分の2 （※超過死亡は5分の1）	2019年
肺炎	95,498	肺炎の44分の1	2019年
窒息	8,379	窒息の4分の1	2019年
転倒・転落・墜落	9,543	転倒・転落の4分の1	2019年
溺死・溺水	7,674	溺水の3分の1	2019年
交通事故	4,295	交通事故の2分の1	2019年

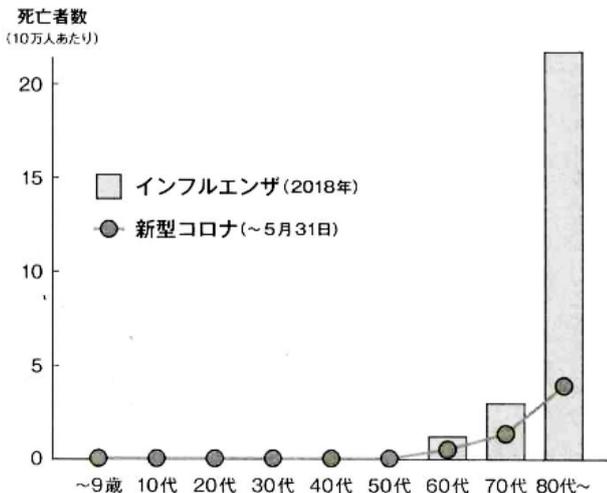
※超過死亡とは、死因となった疾患の死亡数だけでなく、それによって自分が罹患している慢性疾患悪化して死亡するものを合わせた数

インフルエンザの場合、超過死亡は毎年約1万人程度（厚生労働省発表） **1/5**

五、コロナ死の大多数が老人

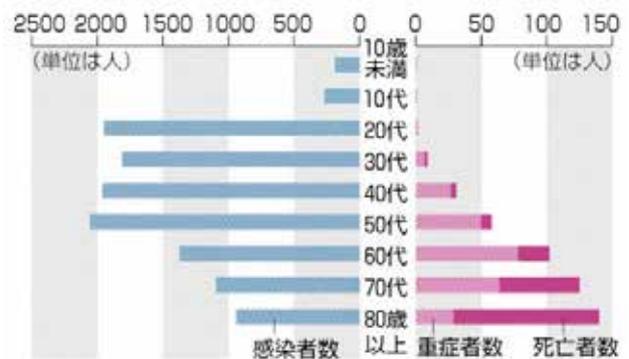
そして驚くことに、その死者の大多数が70歳以上の老人という事だ。20歳以上の若者の感染者が圧倒的に多いのに、死者は極めて少なく、10代未満は殆ど無い。これが逆転した形で、感染の割合は少ないが死亡者が多い。しかも、コロナ死が例年インフルエンザウイルスでの死者数の1/5以下である。これはどうしたことか。

新型コロナとインフルエンザの年齢別死亡率



新型コロナウイルス感染症の年齢層別動向

※厚生労働省調べ、4月22日時点、クルーズ船乗船者、チャーター機帰国者、年代非公表などは含まない



コロナ死の大多数が7、80歳以上。これは既往症、合併症、老衰。感染者数と反比例。

医師の病名死因を覆す！

2020年6月18日、厚労省は各医療機関に、「他の死因でも陽性反応があった者は、コロナ死とすべし」との驚くべき通達があったという。

末期の癌患者でも、不慮の事故者でも、陽性反応即コロナ死の扱いとなる。

六、倒産・失業者の自死も、うなぎ上り

それに伴い、飲食業の営業規制。午後8時、10時の閉店に、客足は遠のき、売り上げ激減。仕入れ先やスタッフへの支払いは滞る。閉店倒産、失業は鰻登りだ。そして、自殺率も、既に歯止めが効かない。(3月1日から一部規制解除の方向) 経済低迷の先が見えそうもない。

これは街場だけの話ではない。我が農園の隣のブドウ園は、昨年秋、ワイン加工場での引き取りが半分以下でストップ。その分、生食用で皆一斉に市場に出すから、値段が暴落の底値。それは、ホテル旅館、レストラン、飲食業でのワインの消費量が激減したからで、「GOTOトラベル&イート」も焼け石に水、外出自粛に客足は遠の



コロナ禍で、廃棄されたブドウ。



くばかりだ。元の生活には戻らない。ワインカーブを夢見た若き人植者は、多額の借金を抱えてこれから消費が伸びるか否か、思いがけない災難に、前途多難である。あるトマト農家は、

毎月600箱出荷したジュースが1年かかり、11か月分在庫の山に、今年の3作付け計画が立たない。離農への不安、コロナ禍は、ここ農村でも他人ごとではないのだ。

話を戻そう。現実、外食店からコロナに罹ったという話は余り聞かない。

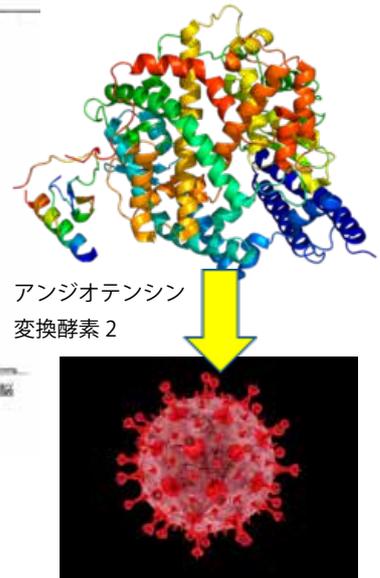
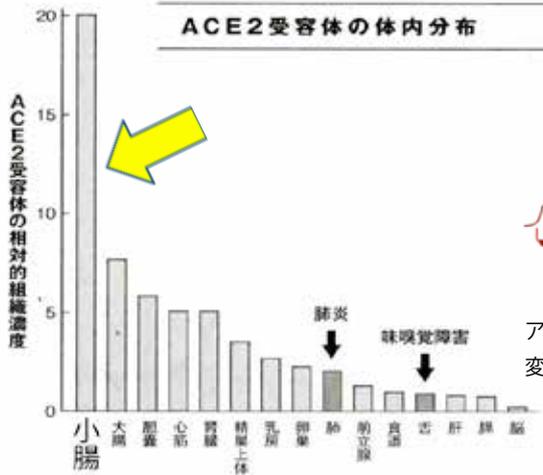
実は、ほとんどが家庭内感染なのだ。全国の自宅療養者数が3・7倍となった。自粛・自粛の結果がこうである。何の効果も奏していない。



七、コロナ感染死の原因の60%は自粛家庭から。それもトイレから

では、何処で感染しているか。実は、家庭だった。しかもトイレでの感染が多い。潜伏感染者の若者から抵抗力の弱い老人へ。それは、今回のコロナ騒動で初めて明らかになった、史上初めての「風邪のメカニズム」にあった。

フコイデ 生きる



血圧制御系の ACE2 (アンジオテンシン変換酵素2) が、感染受容体レセプターであることを解明。それが全身に分布。肺では肺炎、舌や鼻では味覚・臭覚障害を引き起こす。殊に、小腸に10〜20倍も多く存在し、便が重要な感染源であった。お茶がコロナに卓効ありと言われたのも、カテキンがこのレセプターにピッタリ嵌るためだった。

八、腸内を整えることの大切さ

そこで、注目されるのが、腸である。腸を整えることが免疫効果、コロナ対策の最大の要となる。

国の政策は、感染予防より免疫向上に努めるべきが、筋ではなからうか。今のままでは、本末転倒である。

気功家でもある医師・帯津良一博士は、36・5度の体温が最適温度で、免疫が正常に働く温度療法を説かれる。

1度下がれば、免疫力は30%下がり、1度上がっただけで5〜6倍上がる。わずか1度の差が、生死の境目でもある訳だ。



次に長期対策には、善玉菌を増やし、お花畑を育てるように腸内の環境を整える。免疫細胞の60〜70%は、腸管にある。添加物の無いバランスよい食事や、乳酸菌など有用菌の多い発酵食品を

② 風呂に入る。低温の長湯で、体芯をしつかり温める。(理想は、41℃30分以上) サウナでの温冷浴も新陳代謝を促す。

③ とにかく動く。体をこまめに動かす。マラソン・ジョッキングもいいが、長続きするかどうか。それには日常がツボ。日々、時々刻々体の筋肉を使う心掛けこそ、体温を上げるコツである。



その緊急対策として、
① 温かいものを飲食する。冷たい飲料水やアイスなど摂らない。



フローラ：ローマ神話に登場する花と春と豊穡を司る女神

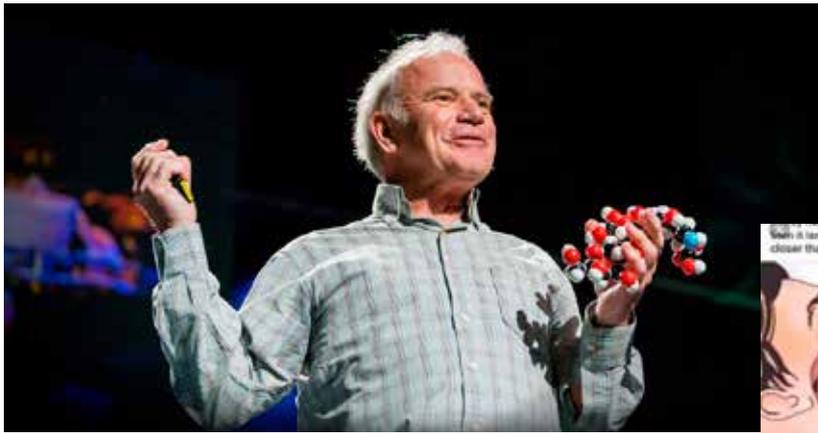
摂って、免疫細胞・腸内フローラを増やしましょう。

九、PCR検査の間

違い

何故、12月頃から俄かに感染者数が増したかは、「PCR検査」が増えた為に過ぎません。

このPCRを発見し、1993年ノーベル化学賞を受賞した米国生化学者キャリー・マリスは、「コロナ感染者のカウントに使えば、後に大ごとになるー！」と戒めた。RNAウイルスは変異しやすく、全体の1/300だけを何億倍に拡大して視ているだけに過ぎない。



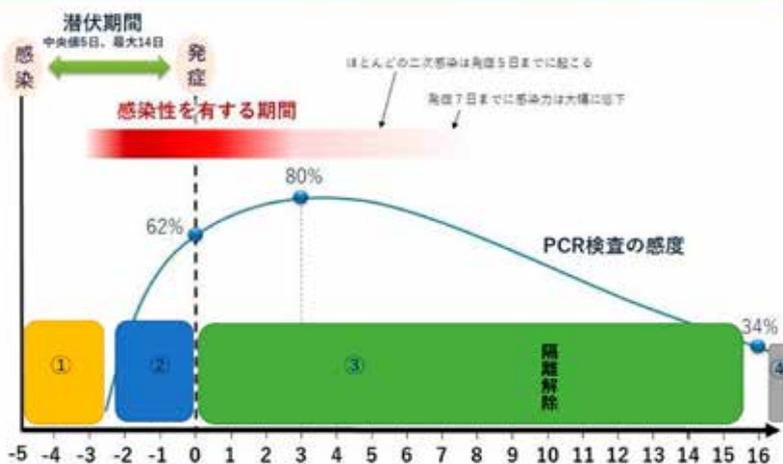
陽性反応 ≠ 感染症

十、検査現場の報告

これは害毒の触媒になっていると。陽性反応は則、感染症ではなかったのです。これは、論文の査読を行わなかったWHO（世界保健機関）の基本的なミスに過ぎなかった。ですが、マリス博士は、新型コロナウイルス発生のお三か月、謎の死を遂げてしまったのだ。

この表は、『倭史「活言」』で登場した飯田潤一医師の紹介による報告です。感染者の4期に分けての解説で、① 発症前の感染

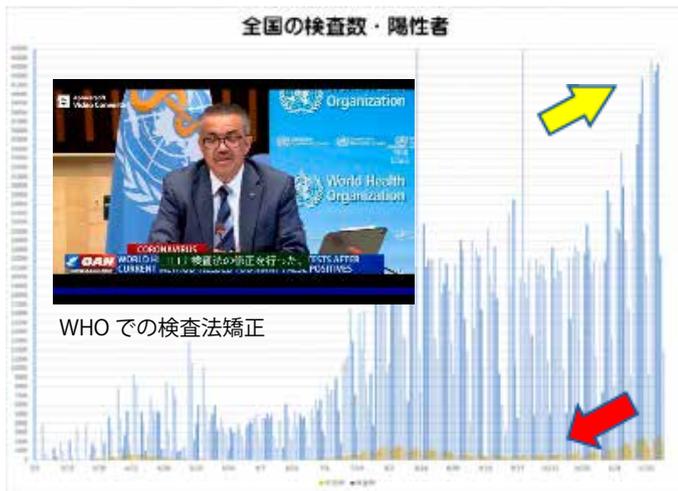
新型コロナの感染性とPCR検査の感度



Nature Medicine 26, 672-675, 2020. Lauer SA, et al. Ann Intern Med. 2020 Mar 10; Ann Intern Med. 2020 Aug 18;173(4):262-267. doi: 10.7326/M20-1495. Epub 2020 May 13.

- ① 第一類型 発症前の感染者。ほとんど陰性。
- ② 第二類型 症状の有る感染者。活動自粛。「病院に行きましょう」検査排除。
- ③ 第三類型 感染性を失った既感染者。数週間にわたって陽性反応。病院・ホテルに隔離入院。就業制限。今更発見しても意味なし。逼迫する医療崩壊？
- ④ 第四類型 無症状のまま感染者。若者に多い。同居者への感染率70%低い。

- ② 時には、ほとんど陰性。
- ③ 症状あるも活動自粛で検査排除。
- ④ 発症して隔離入院するも、5〜7日で感染



力を失っており、今更発見しても意味を持たない。

④ 以降は、無症状の感染者。

つまり、PCR 検査自体、無意味であることを、現場医師の 4/5 は認識しているのではないかとこの事です。

十一、検査の結果

99% 各人の DNA には特異性があり、全てに当てはまらず、DNA 解析は、紙上の情報でしかない。全ての生物は複雑系なのだ。10,000 個の DNA を必要とするのに、

5 個でも、残骸の 1 個でも反応する。感染しても 80% 以上が無症状で発症せずに 3 か月で消える。この検査を続けても、永久に 0 にはならない。これは正に、ファンタジーでありオカルトであると断言する医師もいる。結局、専門家は「何を見ているのか、分からない」と結論付けている。それでもなおお継続する意味合いが、何処にあるのだろうか。

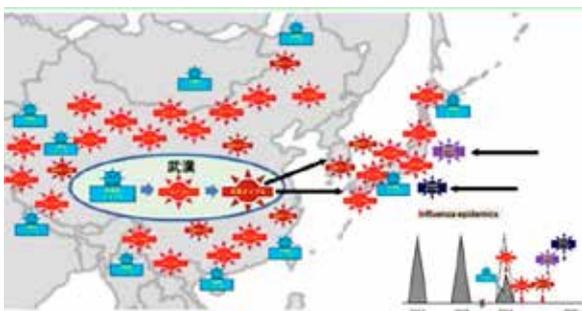
急激に伸びた検査数に比較して、実際の陽性者数は微増である。しかも、その陽性者も、みな感染者ではない。さしもの WHO も、矯正の意向を示したが。

十二、「交差免疫」ということ

昨年 1 月 16 日、第一発症者が出た後、2 月、北見地区で初のクラスター。さつぼろ雪まつりの大通り 2 丁目付近で、武漢をはじめとする中国観光客から感染したという報道がありましたね。特段の理由で開放した政府の判断が問われていました。確かに、これを機に拡散され、急速に広がりました。しかし、これは、後々「神風」と呼ばれ、災いが吉に転じたのでした。

つまり、自然ワクチン化ともいえるべき集団免疫が発生したのでした。

昔から毎年、インフルエンザや風邪に鍛えら



れた東アジア圏の民族的生理体系が、それだったのです。小さい頃、風邪に罹ったら家で 3 日ほど寝ていけば治り、すぐ登校。春になれば、いつの間にか風邪も忘れていく。毎年その繰り返しでした。それで何千年来、民族的にも変異株に鍛えられて来たんですね。

ですから、国民の 60~80% が感染すれば自ずと終息していきます。春の声を聴いて、低温・低湿・低免疫から回復され、自然に沈下しているのです。徒に防御すると、ただ長引くだけで、被害が増大します。今の現状、そのものではないですか。

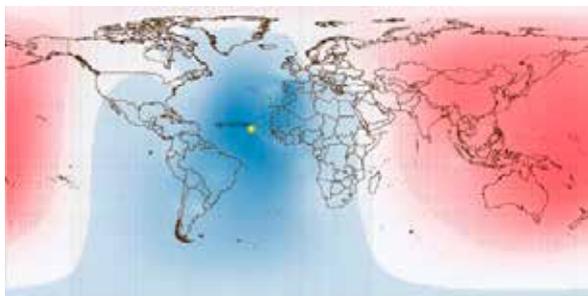
この東アジア圏に四種ある土着性の S 型・K 型は、強感染でも弱毒株が特徴です。

しかし、強毒株の L 型・G 型は欧米の罹患率が 14 倍にも跳ね上がります。日本人が 1 とすると欧米人は 50 にもなります。

国別の活動制限の厳しさと死亡率

5月16日現在の死者数 (100万人あたり)

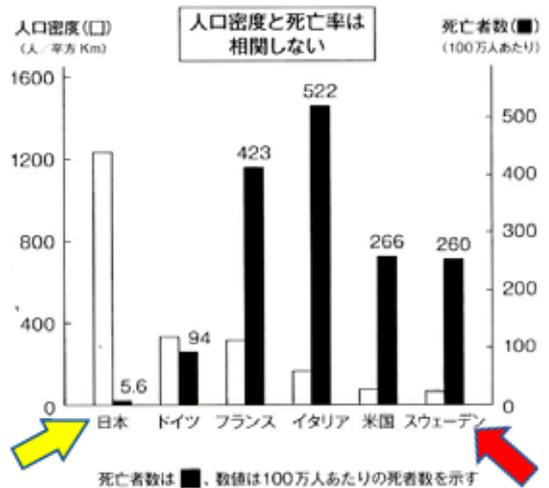
国境封鎖・ロックダウン組		緩やか組	
スペイン	587.5	スウェーデン	260.5
イタリア	522.0	フィリピン	7.7
イギリス	504.6	日本	5.6
フランス	422.7	インドネシア	4.4
アメリカ	266.1	中国(武漢のみ封鎖)	3.2
ドイツ	94.3	インド	2.0
台湾	0.3	タイ	0.8
韓国	5.1		
シンガポール	3.8		



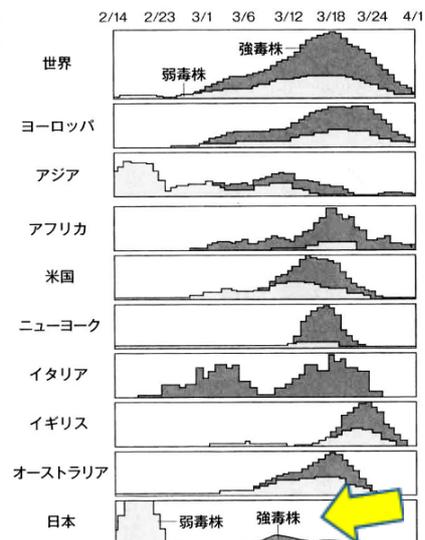
国境封鎖やロックダウン組、そして穏やかな組でも世界的にも東アジア圏の1/100以下の圧倒的な死者数の少なさは、驚異でもあります。

「交差免疫」といわれる現象です。それが右の表です。欧米を中心とした強毒株の猛威は、報道された通りです。

可住地面積あたりの国別人口密度と死亡率の関係



新型コロナの弱毒株と強毒株の世界と日本での感染状況



薄い色は弱毒株の伝播を示しています。EU諸国やアフリカおよび南米にはいさなり強毒株が入っています。日本やアジア諸国では2月頃に弱毒株が入った後、3月頃に強毒株が上陸したことがわかります。弱毒株による自然感染が、ワクチンと同様の効果を示した可能性があります。(出典:文献より改変)

その強毒株が、3月に襲ってきました。しかし、弱毒株で覆われた所に、被ってもそれほど被害が広がらなかった。むしろ、3・25%から1・9%にダウン。から「With コロナ」、まさに「交差免疫」といわれる現象です。それが右の表です。欧米を中心とした強毒株の猛威は、報道された通りです。

十三、マスク有害論・不要論

マスクは、現代生活にとってなくてはならない必需品になったかのようです。

和食や漫画が世界を席捲したように、またもやマスクが世界で認知されたのです。

しかし、今一方では「マスク不要論、有害論」が拡散されています。それは何でしょう。

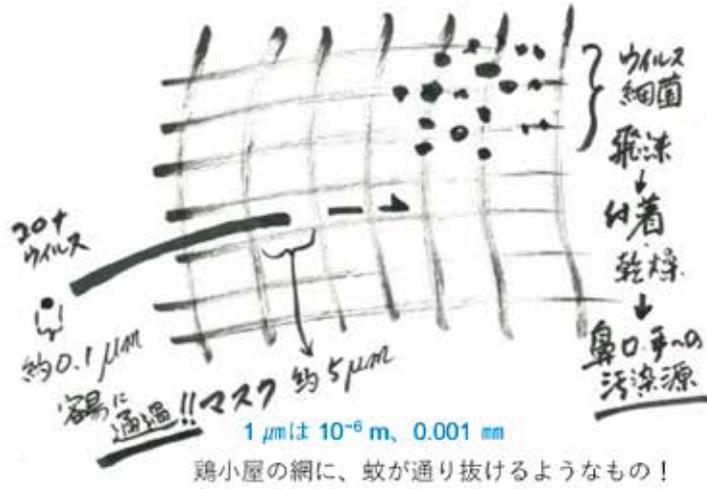
マスクの網は約5μm(0.005mm)で、コロナウイルスは約0.1μm(0.0001mm)で、約50倍大きい訳で、鶏小屋の網に、蚊が易々と通り抜けるようなもの。そればかりか、飛沫が付着して乾燥すれば、鼻孔、口、手の汚染源にもなります。

ドイツの神経生理学者マーガレット・グリーズブリッソン博士は、「酸素欠乏は脳の発達を阻害し、その結果として生じたダメージは元

集団免疫で成功した北欧スウェーデンでも、日本が人口密度60倍あっても、死者数は1/50の少なさです。確率としては、1/3000以下です。ですから、ソーシャルディスタンスなど三密(密閉・密集・密接)の必要性は、甚だ疑われるのです。

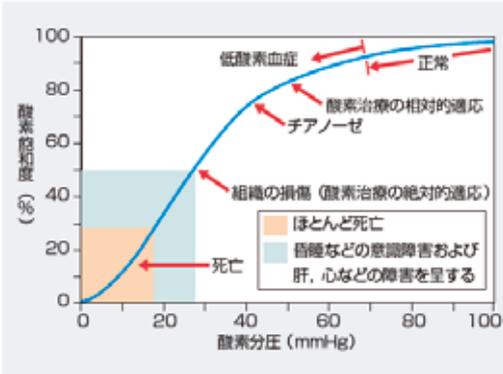
後代をして、「こんな優しいウイルスはない、史上最高の安全な年だった!」と、寧ろ評価されるでしょう。

マスク有害論、不要論！



マスクを増して、感染者が増えている

絶対禁物！！



低酸素血症が組織に与える影響



戻すことが出来ません」「絶対禁物！！」と断言しております。確かに、マスクが増えても感染者も増え続けています。せめて、細密な不織布を止め、布やガーゼのマスクに切り替えるべきでしょう。

十四、鼻呼吸から口呼吸へ

マスク装着で、鼻呼吸から口呼吸へ移行します。口呼吸は、刺激物や異物を直接体内に吸い込んでしまうため、身体の免疫機能を直撃します。鼻呼吸は、空気中の雑菌・ほこりなどの異物の大部分が自然に濾過されます。酸素飽和度が50%になると、低酸素血症が組

織の損傷（昏睡などの意識障害および肝・心臓などへの障害）を与え、30%以下でほとんど死亡という事態に至ります。慢性になると、当然免疫力を直撃します。

十五、免疫力は、呼吸に在り

古来、武道・芸道と道の名の付くものは、呼吸に最も重きを置きます。ましてや禅の修行は、息の修行でもあり、悟りに直結するものです。先の気功家でもある帯津医師は、やはり「免疫力の源泉は、呼吸に在り」と断言されておられます。

装着後2時間後から、海馬の細胞が死に始め、長期着用で認知症、こどもの発達障害の危険性が出てきます！

人は、約21%の酸素濃度の空気を吸い込み（吸気）、肺で酸素を体内に取り込んで約15%の酸素濃度の空気を吐き出す（呼気）。通常、16%の酸素濃度を吸い始めると酸欠の自覚症状が現れ、肺炎のリスク、10%以下で死の危険が生じます。

マスク内部には自分の体内から放出された二酸化炭素や不要物質が溜まり、それをまた吸い込んでいるので、慢性的な酸欠状態となり、様々な不調や免疫力低下の原因となってしまうます。

十六、子供には凶器

「今、子供が危ない！！」

お母さんは、我が子にコロナに罹らないようにと、熱心に、

「マスクを外しちゃ、ダメよ」

と諭している様子が伺えるようです

仁木の田舎でも、学校の行き帰り、みなマスク顔です。屋外でもです。何故、外でするのが、未だに理解できません。



成人の脳は、全身の25%の酸素を消費しますが、10歳未満の子供は、50%以上も消費します。発汗機能が弱く、夏には熱中症にも罹り易くなります。正に「子供には、凶器！」なのです。

赤ん坊や幼児には、お母さんの表情から、母の心を読み取る訓練を日々しているのです。また、微生物の受け渡しもしています。口許や顔の表情から、微妙で繊細な心の動きを察することこ



そ情緒や情操教育なのです。三つ子の魂こそ、健全なる養育期間をマスクで隠してはならないのです。

十七、医療崩壊の元凶は、2

類指定に在り

昨年、東京大学先端科学技術研究センターの分子生物学者・児玉龍彦名誉教授の働きかけなどで、新型コロナウイルスが指定感染の2類に分類されました。あの致死率90%ともいえるエボラ出血熱が1類。SARSやMERS、鳥インフルエンザが2類、コレラなどが3類。これらの指定感染症の2類の扱いなんです。感染したら、即刻強制入院と手当、これを拒否したら法律違反になる訳です。しかし、素人が見てもこれは明らかに行き過ぎ。何処の医院で

ついでに生きる

一年で2000人しか亡くなっていない。これでは「医療アほうかいナ!」
と言われても、返しようがないです。

欧米に比較して1/30の感染率、病床数は30倍、つまり100倍以上も余裕があつて、医療崩壊なんて起こりようがない、という。毎年1000万人インフルに罹り、月に3000人亡くなっているのに、新型コロナは

も、これは風邪処方では治せる症状。5類の麻疹・麻疹以下の扱いで充分。これは、政府の不勉強、判断ミスの行政による人災と言われています。

感染症の主な分類

1類	(主な感染症) エボラ出血熱 (実施できる措置) 入院勧告、就業制限、 交通の制限など
2類	SARS、MERS 入院勧告、就業制限など
3類	腸管出血性大腸菌感染症、 コレラ 就業制限など
4類	マラリア 媒介する動物の 輸入規制など
5類	麻疹、風疹、梅毒 発生動向調査

指定感染症

- ・SARS
- ・鳥インフルエンザ (H5N1)
- ・同(H7N9)
- ・MERS

1~3類感染症と同様の扱い



中国疾病対策センターが公開した電子顕微鏡写真

混乱の元凶!

2類(指定感染)

↓エボラ出血熱(感染20~90%致死)

強制入院 手当 ⇒ 法律違反



5類以下に下げる(コロナは風邪程度)

それだけで、騒ぎは収まる、解決する!!

分類と主な感染症	交通の制限への適用	無症状感染者への適用	入院勧告	就業制限	自粛要請	療養先からの外出
新型インフルエンザ等感染症	○	○	○	○	○	○
新型コロナウイルス感染症(指定感染症)	○	○	○	○	○	○
1類 ■エボラ出血熱 ■ペスト	○	○	○	○	×	×
2類 ■結核 ■SARS	×	×	○	○	×	×
3類 ■コレラ ■細菌性赤痢	×	×	×	○	×	×
4類 ■狂犬病 ■マラリア	×	×	×	×	×	×
5類 ■インフルエンザ ■梅毒	×	×	×	×	×	×

感染症法に基づく分類とできる措置

今回の混乱の元凶は、2類指定に在り。直ちにこれを解除しただけで、騒ぎは収まるはず。立命館大学政策科学部・上久保誠人教授も「コロナ抑制と経済を両立する『第3の道』へ、このままでは日本がもたない。新型コロナを「指定感染症」から外すべき。ウイルスとの



「わ! 苦チーン」のイメージです。ワクチン接種。医療従事者から開始という事ですが、知人の娘さんが看護師さん。親御さんが、今回の内情を熟知しており、家族会議で悩まれていました。本気で辞めるかどうか、判断を迫られているようで、これは大変な問題を抱えています。

共存を求める」と提言されています。ところが、森元首相の騒動に隠れて、2月3日「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」になり、期限が一年から無期限になりました。いつの間にか、感染症分類中、一類より実施できる措置が最も多い対応になりました。知らない方が多いと思います。

十八、ワクチンはWA! 苦チーン!!



スクが10倍になると発表。これら接種後の発症は、枚挙に暇がありません。これは、何を物語るのでしょいか。

十九、ファイザー社や各社の事故続出

現場では、世界中で問題が続出しています。米国ファイザー製ワクチンを接種した老人福祉施設78名全員がコロナに感染して7名が死亡。他社のモデルナやアストラゼネカなどでも、事故が多発しています。ファイザー社の2名の元社員がワクチン中止を求めてEUに嘆願書

ちなみに、中京地区でのアンケート調査で、ワクチンを打ってインフルエンザに罹った人と、打たずに罹った人の差は、15・8%・8・2%でした。また、ハイ・フーデンバーグ博士は、インフルエンザワクチン接種で、55歳以上の人は、アルツハイマー症罹患リ

元ファイザーの研究者（責任者クラス）2名が、ファイザー製のワクチンの中止を求めて、EUに嘆願書を提出していた件



スペインで、複数名が米ファイザー製コロナワクチン接種後に死亡



スペインのある老人福祉施設で、米ファイザー製コロナワクチンの接種を受けた入居者全員がコロナに感染し、そのうちの数名が死亡しました。

スペインのEFE通信によりますと、同国の首都マドリード南西部のトレド県にある老人福祉施設は1日午後、同施設内に入居していた78名の施設者全員が、アメリカ・ファイザー製ワクチンの第1段階接種を受けたもののコロナに感染し、このうち7名が死亡した事実を認めました。

を提出したという。メルク社もガン化ウイルスSY40（シミアンウイルス40）を混入させたことを認めました。

超スピードで製造されたワクチン、本当に大丈夫でしょうか。

水増しされた中国製の二セワクチンが出回っているなど不安が隠せません。最初、ファイザー社は、マイナス70℃の冷凍保管でなければと発表していましたが、今は普通の冷凍庫でも構わないと。この差異は、何でしょうか。

しかし、施行以前に、政府が製薬会社に賠償責任を免除するという声明を出しました。何の治験も検証も論議も無しに、人の命に関わる由々しき問題をこうも易々と通して、国も国民も黙っていていいものでしょうか。

二十、各社CEOは打たない?!?!?

ファイザー社とモデルナ社のCEO（最高経営責任者）は、自社株13万株、50万株をそれぞれ売却しました。これから拡販という初期にどうしてでしょうか。何かの事故で、急落することを予測しての事でしょうか。何故、ビル・ゲイツは、我が子にワクチンを打たせないの

ワクチン 生きる

そもそも、遺伝子ワクチンって何？
従来のワクチンは希釈、弱毒化した

二十一、遺伝子ワクチンって、何？

でしようか。何故、プーチン大統領はロシア製の自国ワクチンを拒絶するのでしょうか。何故、ファイザー社CEO一族は、他の方を先にと行って接種拒否をするのでしょうか。本当に心からの遠慮や謙譲なのでしょうか。何故皆さん自ら成否を確認しないのでしょうか。

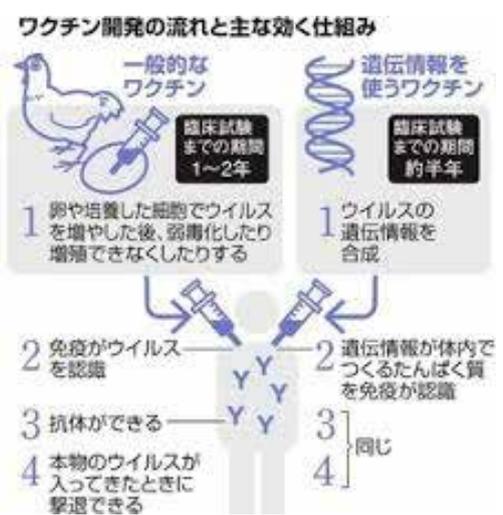
でしようか。何故、プーチン大統領はロシア製の



今回のワクチンは、遺伝子工学的手法で決定的に内容が異なります。DNA、m(メッセンジャー)RNA、ベクターワクチンなどと種類は様々ですが、直接人のゲノムの核に入れます。

ところが、この抗体とコロナの変異株が結合して、一層病態を悪化させるADE(抗体依存性感染増強)発生が怖い。そのためデング熱、エイズ、MERSでさえ開発凍結され、SARSは、17年間研究したに拘わらず、中止しました。

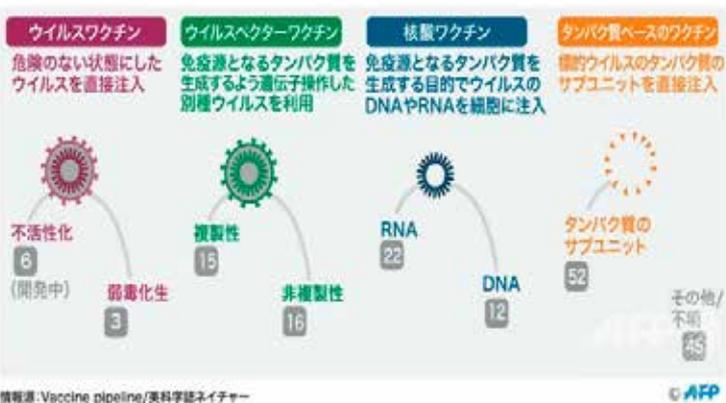
自然な抗体を作る訳です。今回のワクチンは、遺伝子工学的手法で決定的に内容が異なります。DNA、m(メッセンジャー)RNA、ベクターワクチンなどと種類は様々ですが、直接人のゲノムの核に入れます。



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)ワクチン開発競争

英ロンドン大学衛生熱帯医学大学院によると、現時点で171のワクチン候補が存在

4種の主なアプローチ
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対する免疫反応の安全な誘発を目指す





ノーベル生理学賞受賞の大村智博士は、「1年以内のワクチン開発は有り得ない。治験や臨

重症者肺炎はサイトカインストームと言われる免疫応答によって炎症の場となり、肺胞と血管の間の酸素の受け渡しができなくなり、また、若者や小児では重症者が少ないのにワクチン接種の必要はあるのかの疑問が残ります。

その恐れは、自己免疫疾患が発生する可能性があり、一度打ったら元に戻せないからです。5、10年後、50年後、あるいは孫子の代にまで、難病・奇病・万病の原因不明の不治の病になっているかもしれない。そして、何処にも責任を問われない。それを無理矢理、強行したのです。

床で少なくとも10〜15年はかかる」と警告を発

しています。副反応、副作用、後遺症の有無が分からない史上初の試み、生物兵器と同レベルの製造技術ワクチンによる人体実験。

保存料に水銀やアルミ、重金属類が入っているため、アルツハイマーや電磁波障害で不整脈、肺の血栓症で倒れる可能性もあり得ると言われています。

風邪でさえ、変異するからワクチンは作れないのが常識で、それを作ってしまったこと自体、専門筋では非常識ともいえるかもしれません。

二十二、「特措法」で、追い打ち！？

ち！？

そこに、さらに追い打ちをかけたのが「特措法」（新型インフルエンザ等対策特別措置法）です。

今は、解除に向かっているので一安心ですが一時「時短命令」に従わない場合は、罰則規定を設けて罰金などを科すというものです。再びと、浮上するかもしれませんが、最も不安なのがワクチン接種です。

国際法により、ワクチン不接種の人は、出入国できないなどの半ば強制接種・義務化の方向性が不安です。

コロナ特措法、感染症法の改正案

緊急事態宣言が出たら？	休業や営業時間の短縮を命令できる。違反には50万円
宣言前は？	知事が営業時間の変更を命令できる。違反には
入国を拒否したら？	1年以下の懲役、または100万円
保健所の調査を拒否したら？	感染者が正当な理由なく拒否した事
事業者への支援は？	国や地方自治体が財政上

特措法で、罰則！？

首相「コロナ対策実効的に」

特措法審議入り

立民賛成 共産・国民反対へ

緊急事態宣言下の罰則

- 50万円以下 ⇒ 30万円以下
- まん延防止等重点措置下
- 30万円以下 ⇒ 20万円以下

修正ポイント 特措法改正案

▼“時短命令など応じない事業者への過料”

緊急事態宣言下

50万円以下 ⇒ 30万円以下

まん延防止等重点措置下

30万円以下 ⇒ 20万円以下

特措法が定める主な対策

- 住民への外出自粛要請
- 学校、保育所、老人福祉施設などの使用停止要請
- イベントの開催制限の要請・指示
- 住民への予防接種の実施
- 臨時医療施設用の土地・建物の強制使用
- 必要な物資の売り渡し要請・収用

二十三、世界からのメッセージ

世界からメッセージが届いています。



「生まれたての赤ちゃんは、物に触れながら自分の世界を広げて行きます。顔を触り、物を握って、手を口に入れたり……。自然免疫は、そのように発達し、強くなっていきます。頻繁に除菌スプレーを吹きかけて手を洗い過ぎたり、身の回

りを無菌環境にすると必然的に免疫力は下がっていきます。現在、政府や医者が勧めていることは間違っている。あなたも解っているはずです。我々は色々触らないといけない、握手したり、ほっぺにキスしたり、こうしてどんどん強くなっていく生き物です。ビタミンやミネラルの話をする以前に日光のビタミンD、太陽の光を毎日20分浴びてビタミンDを吸収しなければなりません。しかし、政府はどうしましたか？家に閉じ込めさせて免疫力を下げさせた。夏季にマス

つよいきる

クを着けさせ免疫力を下げた。メディアのプロパガンダで恐怖を煽り、免疫力を下げた。マスクを着用する度、最初の1時間で酸素レベルは10%低下します。これらの理由で免疫力の下がった状態で季節風の風邪が流行る冬を迎えることとなります。コロナウイルスはここ4、5年流行っている風邪なのですが、今まで我々の免疫システムは問題なく対応して来ましたが、免疫力が下がった状態だとただの風邪でも重症化する恐れがあります。それで風邪を引ただけでワクチンを要求するのですか？散々ウイルスを恐れて来たのにそのウイルスを含んだワクチンを自ら打つと言つのですか？考えてみてください……」

一方、ビル・ゲイツ氏は訴えます。

「……選択肢はないのだ。選択肢があるかのように思っている人がいるようだが、全世界人口にワクチンを接種させなければ正常化しない……」



二十四、メディアの崩壊

大統領選挙後、各メディアが、俄かにYouTube TubeなどのSNS情報批判をするようになりました。

その裏には、急速に下降するメディア壊滅の危機感があります。財務官僚で経済学者の高橋洋一氏は、「2030

年には新聞は消滅するだろう」との予測をしています。周囲の若者はほとんど新聞を読みません。実際、朝日新聞は上半期で480億円の赤字決算を出しております。現在、国内メディアを信頼している日本人の割合は37%、週刊誌やデジタルメディアは軒並み2割台に急落しています。

景気低迷によるスポンサー離れを繋ぎとめるために、過激で扇情的な事件をより煽って、視聴率を上げなければ維持できない各局の必至の制作姿勢が、冷静で客観的な眼を奪っています。



その原因が結果として、昨年の大統領選やコロナ情報などで、新聞TVは虚偽報道で当てにならないとされ、むしろ、フェイクとファクトの玉石混交があるにせよ、リアルタイムにYouTubeなどのSNSが、真相を伝えているとの認識に立つ大衆が増え、真相に目覚めて来ているのではないだろうか。

二十五、インフォデミックによる真相隠蔽と民心扇動

最初、このインフォデミックという造語は、Information（情報）とPandemic（パンデミック）のマスメディアからの害を言うものと思っ
ていましたが、いつの間にかInformationとEpidemic（エピデミック）の造語にすり替えられ、SNSなどのソーシャルメディアを通じて、不確かな情報が大量に拡散されてしまう現象とされて来ました。その前後の事情は分かりませんが、ソーシャルメディアではなく、国民の大半が見ているTVなどのマスメディア

**コロナ禍の
90%は
情報災害**



による異常なコロナ放映で情報が暴走して
ます。それで、国民総「コロナ脳」に洗脳さ
れ、実際のコロナ感染より被害が甚大になっ
て、よりリスクが四方に拡散しています。今
TV・新聞の功罪が問われるものです。

抑も昨年2月、ノーベル生理学賞の山中教
授と8割おじさんと揶揄された北大の西浦博
教授（現京大）が、日本で100年前にス
ペイン風邪40万人死があったためか、42万人
の感染死を予測しました。そして、それを機
に「緊急事態宣言」が発令されました。

連日連夜、TV新聞で報道されるコロナ危
機で、日本国民総鬱と総ヒステリーが蔓
延したかもしれません。マスクをしないと
と白い目で見られる空気が、同調圧力と



して監視社会に
なったかのよう
です。正義の仮面
を被った攻撃性。島
国根性の国民性。
昔ながらの村八分
社会が、現代のい
じめやバッシング
を蘇らせているよ
うにも思えます。

毎日、顔を突き
合わせる夫婦のいがみ合い、ゲームに熱中する
子供を叱りつける母親、兄弟げんかの絶えない
狭い空間。自粛の強要で、発散場所を失った家
族は、寧ろ家庭内暴力や崩壊の温床になったの
ではないでしょうか。

SNSなどの巷のフェイクより、公共メデイ
ア自体がフェイクで、害が甚大とも言えます。
ファクトチェックよりもメデイアリテラシーよ
りも、インフォデミックの元凶でもあるTV
を見ないことが、平常心を保つ上で、最も大切
なことかもしれません。



二十六、世界医師連盟 (WORLD DOCTORS ALLIANCE - WDA) 宣言

現在、世界の良心的な医師が連盟を創立して、真実のCOVID-19対応を各国政府へ働きかけを行っております。昨年2020年10月にベルリンで行われた「WORLD DOCTORS ALLIANCE / 世界医師連盟」の宣言の様子が動画で見られます。一部その発言を、巻末に添付していますのでご覧ください。まず、その公開書簡の一部をお見せします。

COVID-19対応の章をきっかけに団結した世界中の医師、看護師、医療専門家、スタッフの独立した非営利同盟は、すべての封鎖と関連する損害対策を終わらせ、再確立する目的で経験を共有します。すべての人類のための心理的および肉体的幸福の普遍的な健康の決定。

世界のすべての市民と世界のすべての政府への公開書簡。

前書き

当初、封鎖の前提は「曲線を平坦化する」とことであり、したがってNHSが圧倒されるのを防ぐことであると言われました。

国民保健サービス (NHS) が圧倒される危険性があったことは決してなく、2020年5月以降、COVID病棟はほとんど空になっています。そして決定的に、COVIDによる死者数は非常に低いままです。

現在、数十万のいわゆる「症例」、「感染症」、「陽性検査」がありますが、病気の人はほとんどいません。「感染症」の5分の4 (80%) は無症候性であることを思い出してください (1) 2020年6月、7月、8月、9月を通して、COVID病棟はほぼ空になっています。最も重要なのは、COVIDの死亡数が史上最低です。これらの「症例」が実際には「症例」ではなく、むしろ正常な健康な人々であることは明らかです。

いわゆる無症候性の症例は、呼吸器疾患の病歴において、感染拡大の原動力となったことはありません。むしろ、呼吸器感染症を広めるのは症候性の人々であり、無症候性の人々ではありません。(2)

また、「パンデミック」は基本的に終わり、2020年6月から続いていることも十分に明らかです。(3)

集団免疫に到達した可能性が非常に高いため、ワクチンには必要ありません。

私たちは安全で非常に効果的なCOVIDの治療と予防治療を行っているため、すべての封鎖措置、社会的距離、マスクの着用、健康な個人の検査、追跡と追跡、免疫ハスポート、予防接種プログラムなどの即時終了を求めています。

移動の自由、言論の自由、集会の自由など、私たちの不可侵の権利を侵害する非科学的で無意味な政策のカタログが制定されています。これらの厳格な全体主義的措置は決して繰り返されてはなりません。

それ以降は、詳しい項目により明確な知見と検証が掲載されています。ご覧になりたい方は、是非NETでお調べください。
<https://worlddoctorsalliance.com/>

二十七、日本から「We

Rise」の宣言

日本でも、同じような運動が沸き起こり、立ち上がっております。武田邦彦、吉野敏明、大橋眞、矢作直樹、藤井聡、内海聡、井上正康氏など医師・科学者の設立者からのメッセージを一部紹介します。

新型のコロナ感染症予防対策についての共同宣言

厚生労働省は、自粛の必要性について、その科学的根拠を示すべきである。また、新型コロナウイルスの存在を示す根拠となる科学論文を示すべきである。



武田 邦彦

中部大学総合工学
研究科特任教授



吉野 敏明

歯科医師、歯学博
士、歯科医学博
士、日本歯科病
学会理事、評議員



大橋 眞

医学博士・徳島大
学名誉教授、モン
ゴル国立医科大学
客員教授、免疫生
物学専門家



矢作 直樹

東京大学名誉教
授、(前東京大学医
学部救急医学分科
教授、東京大学医
学部附属病院救急
部副部長)副院長



藤井 聡

京都大学大学院工
学研究所教授



内海 聡

内科医・漢方医、
作家



井上 正康

大阪府立大学医学
部教授(分子細胞生
学) 2011年大阪大
学名誉教授 異
例ソロー特許編
訳研究会FMITク
リニック院長

「：日本に住んでいても、まだこれが正しいという人がいるんですよ。マスクをしる。こんなにマスクをしていない団体は、初めて(笑)《We Riseメンバーを前に》僕も今年一回もマスクしていないで、誰からか殴られるかなど思っているんですけど、まだ一回も殴られていない(笑)…」

中部大学特任教授 武田邦彦

「：ガンで死んでから検査して、鼻からコロナウイルスが出ていて、それをカウントしている。直接コロナウイルスで死んだ人って、大概多くても10人くらいね。ガンは1日960人。自殺が95人。餅で窒息死している人毎日11人死んでいるんだから。おかしいでしょう…」

歯科医師・歯学博士 吉野敏明

「世界で、誰もウイルスを確認していないんです。だから、ワクチンって有り得ないんです。ウイルスがいるからワクチン。ワクチンの有効性、90%、95%入っている？ 有効性は、ウイルスがないと確認出来ないじゃないですか。何を言っているんでしょうかね……」

徳島大学名誉教授 大橋眞医学博士

「不安や恐れを持たずに、普通の生活をしてゆけば良いんじゃないでしょうか、というのが、

<http://www.werise.tokyo/declaration/> の Net
上で署名できます。

**共同宣言の署名活動をはじめました！
署名のご協力お願い致します。**

1. 私たちは、政府に対して一刻も早い**指定感染症（2類相当）の解除**を求めます
2. 私たちは、**PCR検査による陽性者認定を即刻停止**するよう求めます
3. 私たちは、感染予防対策としての**マスク着用の推奨を停止**することを求めます
4. 私たちは政府・自治体に対して、感染予防の名の下に行われる施策の一切に対し、その根拠となる**科学的なデータを明確に示す**ことを求めます
5. 私たちはメディアに対し、**感染者数の発表を停止**するよう求めます



東京工業大学大学院理工学研究科教授
内閣官房参与 藤井聡氏

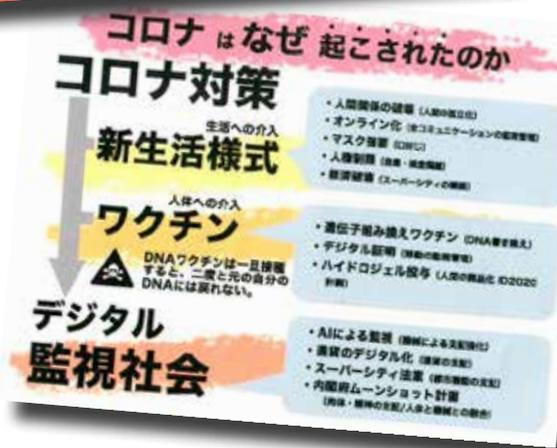
私の結論です」

東京大学名誉教授 矢作直樹医学博士

「ホンマに、最初こいつらにムカつく！（北海道、大阪、東京知事に向かって）次に、こいつらにムカつかない国民にムカついているんですよ！……」

二十八、「コロナは茶番」「デジタル監視社会」の現実

こんなチラシをお客様より戴きました。最初「コロナは茶番」「目覚める日本人」「デジタル監視社会」などなど過激なキャッチに、驚きました。しかし、調べてゆくうちに、最後これが結論ではないか、と思うようになり、お客様の方がズーツと意識が進んでいることに、勉強不足を痛感しました。お子さんには、マスクをさせない徹底ぶりです。お母さんもお母さんですが、お子さんもお子さんで、「学校は、嘘を教えている！」と毅然として立ち向かう小さい姿は頼もしい限りです。



Maker of COVID Tests Says Pandemic is Biggest Hoax Ever Perpetrated

from G. Edward Griffin 2020 Nov 21

Top pathologist Dr. Roger Hodkinson told Canadian government officials in Alberta during a phone conference that the coronavirus pandemic is "the greatest hoax ever perpetrated on



まほろばの店内でも、実施しようと試みていますが、未だ情報が行き渡っていないため、お客様のご理解が充分得られていません。今尚、ほとんどの方がマスクをされている中、意を尽くし時間を重ねて、真相をお伝えして行きたいと思えます。店内での自主的マスク不装着は、責を問うものではありません。

医学協会病理検査部門元会長 Dr. Roger Hodkinson ロジャー・ホドキンソン博士は、

「完全なる事実無根の大衆的ヒステリー。メディアと政治家による極悪非道なる扇動。そして、過去に類を見ない一般市民への詐欺行為で

ある「H o a x(で
つち上げ)とまで
断言されました。

某団体によっ
て1980年米
国ジョージア州に
建てられた碑文
「ジョージアガイ
ドストーン」には、
世界人口を5億人
まで削減する計画
(現在の77億人か
ら2050年の
97億人へと人口増
加が予測される)
が刻されています。
今、ビル・ゲ
イツ氏は、「70億
人分のワクチンを
必ず用意せねばな
らない」と訴えて
います。

それは、まことしやかな陰謀説、流言飛語と
して、これまで取り上げることはありませんで
したが、今になって現実味を次第に帯びて来た
信憑性に驚きと怖れを隠せません。



ゲイツ財団本部 (シアトル)

PHOTO: ELAINE THOMPSON/ASSOCIATED PRES



次回後篇は、歴史的背景の解説と、いかに跳
躍して新しい世紀を我々は切り拓き、辿り着か
ねばならぬかの結論を披瀝します。お楽しみに。

(次号へ続く)

「プランデミック」から 「より良日常」へ

「WORLD DOCTORS ALLIANCE ／世界医師連盟」の宣言

(2020年10月10日、ベルリン)

各国・各人のメッセージ。(29P参照)

こんにちは。こちらはベルリンです。
今日は2020年10月10日、ACU2020 ORGのもと、我々
は世界に向けて「世界医師連盟World Doctors Alli-
ance」を告示するため、「Hello」します。

【Dr.Heiko Schöning】

私はDr. ハイコ・シーニング、
ドイツの医師です。
「ドイツ啓蒙医師団」そして「議
会外コロナ調査委員会ACU」の創
始者の一人です。



Dr. Heiko Schöning

我々は医師、科学者、そして平和活動家の集まりで、
そして全員が共に出す声明は、この COVID-19という
件が「真実でない」ということです。そして医師とし
て特に「真実」を語るべき義務があります。今日は、
このような国際的な専門家の方々をベルリンにお迎え
でき大変嬉しく思っています。今の世の中にある人々
のために、我々は多くの活動を起こすつもりです。

【Dr.Mohammad Adil】

こんにちは、私はDr. モハメ
ド・アディルです。



Dr Mohammad Adil

私は昨日、この壮大な「世界
医師連盟」に参加するため、仲
間と共にイギリスからやってき
ました。私はイギリスの国民健
康公社に顧問外科医として務め
ながら30年の実績があります。私はイングランド王立
外科医師会の会員(フェロー)であり、医学、教育、
研修、研究活動、慈善活動、人間救済に大きく貢献し
てきました。

私はこの「世界医師連盟」の議長であり、我々がこ
の論壇において、公にしようとしている事実とは、組
織的に捏造されたコロナウイルスの感染性、そして危
険性および致死性に関する事実です。我々は真実を公

にします。これはコロナウイルスではない……それはこれまで聞かされてきた危険ではなく、我々はそれと共存していくこととなります。ありがとうございます。

[Elke de Klerk]

こんにちは、私はオランダから来ました、エルケ・ド・クレルクと申します。

総合診療医としてベルギーでも働いています。オランダにある



Elke De Klerk

「真実の医師団」を見つけ、「国際倫理会議」を開催させて頂きました。これは医療・倫理に関する緊急審議でした。現在ここにある科学について、そしてデータや患者に関する事実をお伝えするため、我々はここにいます。それはメディアに報道するような醜いものではありません。

オランダでのような考えの全ての医師と連絡を取っています。何百という人数の医師たちです。私たちの記録では病院は満杯ではなく、人々は病気でもなく、検査といっても規定の検査は然るべき機能を果たしません。ですからこれを公開しなければなりません。そして仲間である医師たちのためにも、オープンな議論が出来る場を設けなければなりません。どうもありがとうございます。

[Dr. Mikael Nordfors]

私はミカエル・ノートフォースと申します。

私はスウェーデンの医師、作家、音楽家、政治家改革家です。私は「人民法廷 People's Court」という組織を立ち上げました。私たちの目的は今、世界を覆う暴政、そして医療の場を脅かしている暴政に立ち向かうすべての人を支援することです。ですから恐るべきことはありません。新しい職探しもお手伝いしますし、全ての人が立ち上げられるよう、金銭も集めて援助も致します。我々は新たに「ニールンベルグ裁判」をするよう取り計らいます。出来ればニールンベルグで、このテーマの背後に在る全ての犯罪者に対し、訴訟を起します。

どうも、私はザック・コックス、代替療法系の歯科医です。私は「世界医師連盟」の総書記です。ロックダウンはウィルス以上に害をもたらしました。我々はこれを終結させ、世界に自由を取り戻すためにここに来ています。

[Dr. Zac Cox]

どうも、私はザック・コックス、代替療法系の歯科医です。

私は「世界医師連盟」の総書記です。ロックダウンはウィルス以上に害をもたらしました。我々はこれを終結させ、世界に自由を取り戻すためにここに来ています。



Dr R Zac Cox

[Boris Dragin]

みんなこんにちは、私の名前はボリス・ドラギンです。

私はスウェーデンの内科医であり、自然療法士です。私は「人民法廷」の代表で……以下スウェーデンからの参加者代表でもあります。

自分が何に晒されているのか、未だに気付いていない全ての人々に、知るべき真実と事実を知ってもらいたいと私は思っています。ありがとうございます。



Dr. Mikael Nordfors

[Martin Byrne]

皆さんこんにちは、私はマーティン・ビュアン、アイルランド出身の弁護士、そして人権擁護者です。

私が今日ここに来たのは特定の組織の代表としてではなく、自分自身が動機です。私の目標は、ヨーロッパと全世界の人々のために、基本的権利と基本的自由を守り、維持することです。この一年間の間に見てきた著しい検閲や信じ難い人権侵害などから基本的人権を守っていけるのか、と危機感を持つようになりました。ありがとうございます。

[Monica Helleberg]

こんにちは、私はスウェーデンから来ました。モニカ・ヘレベルヒです。

私は「人民法廷」の議長で、「新地球プロジェクト New Earth Project」のメンバーであり、自由活動家、教師、そして預言者です。

今ここを覆っている闇を皆と共に暴いていかねば、と思っています。地球という惑星をとりまく全ての詐欺行為は、非常に、悪いものです。ですから結果なくはなりません。なぜならそれが我々を強くするからです。そして事実は今ここに、暴かれています。残されているのは行動のみ、意義的行動です。そして我々が真に望むものを、この世界に創造していきまじょう。ありがとうございます。

[Mads Palsvig]

私の名前はマズ・パルスヴィイ、デンマーク出身で元投資銀行家です。

また、地球、自由、知識を表現する「人民党」の創始者、党首でもあります。私は特に議題にしたいものは「私の体」「私の選択」といった優良な健康政策という明白なものとは別に非常に強力な経済プラットフォームであり、これは連邦準備制度の顧問をしてきた経験とステンレー、クレディ・スイス、パークレイズで国債トレーダーとして働いていた経験を活かし、この経済プラットフォームをもって単純に、貧困層を排除してひとつの大きい中層階級を作ります。つまり現在のよつに、高度技術を持つエリート集団と貧困層は増加し、中間層が破壊されていくのとは全く逆のことをするのです。例えば、所得税を廃止して、トービン税、デジタル貨幣取引への課税を行い、付加価値税(VAT)を廃止し、売上税を導入します。我々はアイスランドの政治家であるフロステイ・シガーヨソン式をもって人々のためにお金を創ります。彼は百ページものプログラムを作成し、国会議員を務めました。

現在のよつに、民間銀行が顧客に融資するのではなく、人々に通過を供与してくれる国民銀行があれば、それは人々に富と繁栄をもたらしてくれるでしょう。皆さま、お集まり頂きありがとうございます。

[David Kurten]

私はデヴィット・カーテンと申します。イギリスから来ました。

私はロンドン議会のメンバーでそして来年5月にある市長選に立候補しています。私は化学専攻の卒業生ですが、政治家やマスコミは科学と数学に関する理解度があまりに乏しいのを見てきました。彼らは「コロナウィルスが実際よりもはるかに悪く危険であるとい

う考えを押し付けてきました。実際にはインフルエンザの流行よりも大したことはないのに、恐怖を煽り、市民の自由を奪い、企業を破壊しました。彼らの政策は、人々の精神衛生に非常な害をもたらし、また、普段なら取れるはずの予約が取れなかった。その他の人々の身体的健康をも害しました。イギリスで、私は「継承党 Heritage Party」という新政党を立ち上げました。

自由、そして発言の自由のため立ち上がり、この地球に健全さを取り戻していきます。なぜなら主要政党はこれらの破壊的な物語を押し進めている同一の操り人形の両手であり、イギリスをはじめ、これは世界中で終わらせなければならぬことだからです。

[Monique Janssen]

こんにちは、私はモニック・ジャンセンです。

オランダから来ました、心理学者です。「自由を求める女性の会」の創始者でオランダでのデモや講演会などを企画しています。そして、私は人々が「自分が奇跡なのだ」ということを忘れないようにするためにここにいます。子供たちにも「自分は奇跡なのだ」と思い出させたい。そして、自分がどのよつにプログラムさせて来たかに気づかせ、そのプログラムから抜け出して

自分自身のプログラムを創れるよつ手助けしたいのです。そうすれば、かつてこれ迄に無かったようなより良い世界を皆で作っていきましょう。ですから、以前の「日常」には戻りたくないですが、皆さんと一緒に新しい「日常」を作っていくたくて、そのためにここに来ています。

[Wendy Ekels]

こんにちは、私はウエンティ、やはりオランダから来ました。

私たちは「人類団結」というグループを作りました。私も皆と一緒に新しい世界と、新しい健康への価値観、そしてより誠実な世界を創っていく覚悟ができています。ありがとうございます。

[Agathe Dorado]

こんにちは、私はデンマーク出身のアガテ・ドラーダです。

私は代替療法の医師で、20年の経験があります。そして…一年前に、5Gが世界中に設置されたと聞きました。沢山の調査をした結果、5Gを実施したデンマーク政府に対して裁判を起すことになりました。5Gは「コロナ詐欺の一端だからです。5Gにより風邪に似た症状が出来ます。そしてこの手の物語が永遠に続けられ、やって来ては去ります。ですから私はこれを非常に重要に考えています。今日、私がここにいるのは多くの方と繋がりに、この組織を大きくしてお互いのデモに参加し合い、狂っ



たじわらの政府を倒すためにお互い助けあいたいからです。ありがとうございます。

【Fiona Hine】

UK ロンドンのフィオナ・ハインです。

私は真実を見つけ、真実を暴くために [Govilinks.co.uk](#) という活動団体を開設しました。私は平和活動家でもあり、英国で「抵抗と行動」という自由を求める運動を立ち上げました。私は英国にて、そして今は国際的結集をこの素晴らしい方々の集まりをもって組織化し、自由のために闘います。

【Dr.Margareta Griesz-Brisson】

私はマルガレータ・グリース＝ブリッソンと申します。ドイツから来た神経内科の顧問医師です。

私は「医師会」と数々の「保健所」に質問したい。それはドイツの「医療評議会」と「疾病管理センター」のことですが、致命的な伝染病が未だにそこにあるという証拠はどこにあるのですか？ それをもって、あなた方はこの一年の間に実施したすべての制限を正当化出来るというのでしょ？ が…その証拠を私たちと共有してください。そして私たちと議論に入ってください。私は応援させていただきます。

【Dr.Heinrich Fiechtner】

1920年代、私の母親は Dr. ハインリッヒ・フィエヒトナー博士。

私は腫瘍内科医、血液学専門医、緩和治療医です。ドイツ、バーテン・ヴュルテン

ベルグ州の議員を敷いている政治家でもあります。真実と自由を掲げるために立ち上がるのは私の義務だと思っております。キリスト教徒、政治家、医師として真実の旗を掲げ、

人々の弾圧、パニック、他者

による支配に対抗し立ち上がることで自らを自由に発展させるために創られた人々は、その創造性に込められる永遠の価値へと立ち戻るべきなのですが、人々が世界中でこの、パニックや悪魔的理論を課せられることによりその創造性は大きな危険に晒されています。私には使命があると感じています。それは人々にこれを伝えることですが、それ以上に同僚である医師たちに勇気を出して立ち上げるよう。語りかけたいです。かつて、背負うと決めた責任を思い出して下さい。「患者は守ります」と誓ったこと、そして「どんな圧政にも屈せず健康の自由をまもる」と誓ったことを…それが医師の使命です。そして私は全てのドイツの…そして世界中の医師たちへ自ら使命を果たせ、この圧政に抵抗して立ち上がり、と呼びかけます。



Dr Heinrich Fiechtner

【Prof.Dolores Cahill】

私はドローレス・カヒル、微生物学および免疫学の教授です。

また、この「世界医師連盟」の会長でもあり、[AQU2020.ORG](#) を支援しています。1997年 Dr. ハイリ・シエーニングや Dr. モハメド・アディルを始め、同僚の皆さんと同席させて頂けて嬉しいです。我々がこの場において、良いニュースを伝えるには、「コロ

ナウイルスは12月から4月にかけて流行る季節性のウィルスで症状がある人には吸入ステロイド、ヒドロキシクロロキン、亜鉛などの治療法があること、ですからロックダウンの必要性はなく、怖がることもなく、マスクもソーシャルスタンスも隔離も不要です。効果的な治療法があるのに、昨年流行したインフルエンザのために、人々を家に閉じ込められています。ですから、「怖がる必要はない」というメッセージを人々に伝えていきたいと思えます。

私は学問および言論の自由を求める様々な組織に関わっています。私はアイルランド自由党の議長であり、これを聞いているすべての方々に、あなたの国で起る新しい民主党・平和党な運動に参加することを奨励いたします。選挙に参加し、実際に善よりも害をもたらしている政治家を排除するのです。言論の自由に関しては、Dr.バーノン・コールマンのような医師だと共に「Brand New Tube (動画配信サイト)」を支援しています。

またアイルランド及び世界中で、私たちの健康、遺産、自由をまもるための、新しい保護者運動を立ち上げています。また、Dr.シエーニングと彼の MIRROR への動きも支援したいと思っています。それはビジネスや新しい革新的な技術を実際に支援するということ、それがまた言論と健康の自由



Prof Dolores Cahill

ホテル、航空会社をブランド化します。真の健康とは何か、疾病に関する正しい統計とは何かという情報を与えてもらう権利が私たちにはあること政府側の規制管理者、医師、相談役の意見を押し通して人々の自由

と健康を奪つのであればそれは証拠に裏付けられていなければなりません。私は「世界医師連盟」の会長として、これから医師の方々と立ち上がりヘルシンでの行進を率いることが出来てとても幸せです。何百万とい

う方の参加を期待しています。そしてすべての医師、規制管理者、政治家たち、そして全世界の人々へ。皆さん、マスクを外してもいいのですよ。自由に叫ぶ私たちの側へ、いらして下さい。ありがとうございます。

「プランデミック」から「より良い日常」へ

これらが世界中の専門家、医師、その他の科
学者、活動家たちの声明です。これは皆さんに
とって良い知らせです。

医学的にはパンデミックの証拠は一切認めら
れません。

これはどうやら計画された「プランデミック」
なようです。

そして皆が声を揃えて言しましょう。「新し
い日常なんか嫌だ」と。

しかし、「以前の日常」に戻るのも嫌です。

なぜなら「以前の日常」が「新たな日常」とい
う状況を生み出したからです。

私たちは「より良い日常」を求めます。

それで皆で共に求めましょう、そう、あなた
と一緒に！

ありがとうございます。



Prof Dolores Cahil



Dr Mohammad Adil



Dr R Zac Cox



Dr Andrew Kaufman



Dr. Heiko Schöning



Dr Heinrich Fiechtner



Dr Scott Jensen



Elke De Klerk



Dr. Mikael Nordfors



Dr Hilde Smet



Dr Vernon Coleman



Dr Johan Denis